

	課題分析	授業改善策
1年	【算数】 ○ 一位数の合成、分解を正しくスムーズに行うことが難しい児童がみられる。 ○ 一位数の加法、減法について、計算し答えを求めることはできても、式の意味を捉えることが難しい。 ○ 問題場面の意味理解が難しく、的確な立式や演算決定に課題のある児童が多くみられる。	○ 半具体物(おはじき、算数ブロック)を用いて、合成、分解の操作活動を継続して行い、数の概念が醸成されるようにする。 ○ 計算カードなどを活用し、繰り返し加法減法の習熟を図る。 ○ 問題場面を具体物や半具体物で示して可視化し、加法や減法の根拠を捉えることができるようにする。 ○ 具体物や半具体物を用いて、式を絵や図で表したり立式したりする活動を繰り返し行い、式の意味を捉えることができるようにする。
2年	【算数】 ○ 時刻を読むことに慣れていない児童がいる。また、時刻と時間の区別ができない児童が多い。 ○ 水や長さの量的な感覚がほとんどない。 ○ 文章問題(特に引き算、「どちらが、どれだけ多い」など)で立式できない児童が多い。	○ 普段の学習の中で、実際の時計を使って、時刻の読み方を繰り返し練習させたり、「あと何分で」など時間を意識して活動させたりする。 ○ 具体物・半具体物に触れながら、数や量の感覚を身に付ける活動を増やし、理解の定着を図る。 ○ 文章中の分かっているところにアンダーラインを引き、もとめることを明確にする。また、線分図を作り、視覚的に整理して提示する。
3年	【国語】 ○ 自分の考えを順序立てて話したり、大事なことを漏らさずに聞いたりすることが苦手な児童が多い。 ○ 相手の気持ちを想像したり、自分の気持ちを言葉にしたりすることが苦手な児童が多い。	○ 朝の会で一人ずつスピーチをする時間を設定し、普段から相手を意識して話をしたり聞いたりするようにする。 ○ 語彙を増やすために言葉集めや辞書を使った活動を定期的に設定する。
4年	【理科】 ○ 実験、観察など体験したことから課題に沿って考察することが苦手な児童がいる。	○ 学習課題を明確に捉えられるように提示する。同じ手順で実験、結果、考察を行う。 ○ 結果をもとに、考察することができるようにする。 ○ ノートのまとめ方を具体的に指導する。
5年	【国語】 ○ 漢字の定着に個人差が大きく、漢字を日常生活で活用できていない。 ○ 自分の考えに根拠をもって説明、表現して書く力が低い児童が多い。	○ 反復練習を行うだけでなく、言葉の意味を理解するために辞書などを積極的に使用していく。また、語彙を増やすために、朝学習などを利用して言葉を調べる時間を設ける。 ○ 学習内容のまとめや考えた理由などを、自分の言葉で説明し、書く活動を多く取り入れる。
6年	【国語】 ○ 自分の考えを自分の言葉で分かりやすく伝えることに苦手意識をもつ児童が多い。 ○ 相手の話を正しく理解しようとする意識が低い児童が多い。	○ 話したり聞いたりするときのポイントをまとめたカードを提示し、意識させる。根拠(データや経験)を明確にし、表現する機会を意図的に設ける。 ○ 全校朝会での校長先生の講和の内容を確認するなど、学校生活の中で話を聞いている際に、意図的に振り返りを実施し、聞く意識を普段から高める。
専科	【図画工作】 ○ 想像したり考えたりすることを楽しみ、感じたことや思い付いたことを自分なりに表現することが苦手な児童がいる。 【音楽】 ○ 少しずつ教え合い活動ができるようになってきた。お互いの奏でる音を聴き合うことが苦手な児童が多い。	○ 身の回りにある様々な面白いことや不思議なことに関心もち、素直に感じたり表現したりすることの楽しさを感じられるような題材を用意し、つくる喜びを味わえる授業を設定する。 ○ ペアやグループ活動をし、お互いの音を聴き合う力を育て、友達と関わり合って学ぶ力を育てたい。